

インダイレクト(間接的)

勇気を出して、ナンパしたとします。

まだ成功かどうかはわかりませんが、とりあえず、あなたの話に耳を傾けてくれる女性に声をかけることができました。最初は警戒していましたが、段々と打ち解け、なんと近くのカフェでコーヒーを一緒にしてくれるようです。

遊んでいる子なのか、それとも純粋な子なのか。そんな事はどうでもいいと思いました。とにかくあなたは知らない女性に声をかけ、そして一緒にカフェに行くというところまで成功させたのです。さあ、これからが本領の発揮しどころだ。と思った瞬間、、、

「彼女、いるんですか？」

思わぬ質問が飛んできました。こんな場合、あなたならどう答えるでしょうか？もしあなたが結婚もしていなくて彼女もいなくて完全にフリーであれば、「いないよ」と一言言えばいいわけです。しかし、結婚していたり彼女がいたりする場合、正直困ると思います。

これを読んでいるあなたが女性をナンパする目的は、単純にSEXから得られる快樂だけが目的ではないと思います。ナンパをすることによって、そして最終的にSEXを手に入れることによって、男としての成長を遂げたいという明確な目的があると思います。それなので、今の彼女や奥さんで満足しているという場合も、あえてナンパという名の男磨きをやっているという場合もあると思います。

そんなとき、「彼女、いるんですか？」と。

正直に答えるべきか、それとも嘘をつくべきか。

Attraction Master Circle

Season1—本能的魅力の秘密

どちらも正解のような気はしないと思います。

でも、悩んでいる時間はありません。

「彼女、いるんですか？」

この質問に何かしらの答えを出してあげないといけません。この質問に対する答え、「YES」か「NO」どっちが正しいのか？

まず、この質問をしてくる女性が何を考えているのかを理解しておく必要があると思います。この手の質問をしてくる女性は大抵、「この質問をしたら困るかな・・・」「どんな反応するだろう？」という、男性に対するある意味でのチャレンジが含まれています。

「彼女いたら普通、他の女をナンパしたりしないよね。いないならいないでいいんだよ。この話はこれでおしまい。・・・でも、彼女いてもナンパする男は少なくないよね。あまつさえ、既婚者って可能性も、まああるよね。あなたはどっち？・・・相手がいるのだとしたら、さあどう切り返す？」

・・・さあ、どう切り替えしますか(苦笑)？

これは相手のタイプによって答えを変えていくのですが、どんな答えを提示してあげるにせよ、基本的には、相手の予想の範疇を超えている必要があります。

僕の場合はこうです。

まず、それなりに経験のありそうな女性相手なら、

「うーんと、今は、彼女は18人いるね」

Attraction Master Circle

Season1—本能的魅力の秘密

などと答えると思います。少し教養のありそうな子には

「正室が1人、側室が2人、愛妾が7人いる」

こんな感じでしょうか。かなりいい加減です。「そんな事言ったら一撃で嫌われるだろ」と思うかもしれませんが、実はこのいい加減でテキトーな答えの中に、女性の性的ゾーンに入る秘密が隠されています。この後どう対応していくかは追々話すので、とりあえずこれを覚えておいてください。

“謎”を残しつつ、「自然に」回避せよ。

上記のケースでははなりハードな“謎”を残していると思います。

一方で、相手が真面目そうな女性であれば、

「じゃあ普通に答えてもつまらないから、これからの俺の言動で判断してみようか(笑)」

軽い謎を残すと同時に、しれっとその場を回避してしまいます。相手のタイプがどっちかわからない場合は、こう言ってください。

「興味ないくせに(微笑)」

・・・「微笑」が何気にポイントなんですが、これは、微妙な問い(男性に対してのチャレンジ)を投げてきた女性に対して、逆に、微妙な問い(女性に対してのチャレンジ)を投げ返しているというわけです。

これは、「俺の事になんて興味ないでしょ?」と言っているのわけではなく、「なになに?それって俺の事に興味あるってこと?興味あるんだったら答えてあげてもいいけど?そうすると、認めちゃうことになるけど?」という隠

Attraction Master Circle

Season1—本能的魅力の秘密

されたニュアンスが込められています(あくまで「ニュアンス」なので、口に出しちゃダメです)。

それを女性はちゃんと感覚で理解するんですね。そして、一瞬怯みます。

「ちっ、こいつやるな・・・」

彼女の本能の声が聞こえてくる瞬間です。

ここで、ステータスの高い女性なら、「まあ別にいいけど」などと言って流そうとするので、その時は微笑みながら自然に話題を変えればいいと思います。真面目な女性やちょっとズレてる女性は、「え、聞いちゃダメでした？」とか言ってくるがありますが、その場合は「んーん、そうじゃなくて。興味ない事聞いても仕方ないんじゃない(苦笑)？」と優しく言ってあげること、で、「そういうものなのか」と軽い自問自答をはじめます。そのタイミングで別の話題を振ると、自然に話が変わります。

ここまでのいいですか？

「そんな事言うと嫌われるんじゃないか？」という疑問はまだあるかもしれませんが、これは嫌われるとか以前の話なんですね。

“謎”なんです。“興味深い”んです。

世の中は本当に「いい人」が沢山います。素晴らしい事です。ただ、女性にとって非常に残念なのは、「いい男」ではなく、「いい人」だということです。僕流に言うと、「ヘタレ」で溢れかえっているということです。そして、この現実を女性の本能は嘆いているということです。